



令和 元年11月 29日

No 9 文責 大島 健

小学校のプログラミング教育

帯広市立広陽小学校 校長 大島 健

いよいよ、来年4月より新学習指導要領が完全実施になります。

学習指導要領は、社会情勢や社会の変化に対して、概ね10年に一度改訂される、日本の教育の基準を示したものです。数年前から、「小学校の外国語活動が教科になる」とか「道徳が特別な教科になる」などの話が伝えられてきました。教科になるということは、教科の内容の「定着」が求められます。

そのような中、「小学校のプログラミング教育の必修化」という文言が注目されています。ここに来て、小学校英語や特別な教科・道徳と同じように、社会的にも大きくクローズアップされるようになってきました。

この背景には、今の子どもたちが社会で活躍する時代は、科学技術の進展に伴い、今以上に人工知能(AI)やロボット、インターネット活用が進行することは容易に推察されます。そのとき、コンピュータに使われるのではなく、コンピュータを使うことで、より安心・安全に豊かな生活ができることを目指し、プログラミング教育が導入されました。コンピュータの機能を最大限発揮させるのは、人間が入力するプログラミングであることを、小学校のうちから体験させます。そのことが、予測不可能と言われる高度情報社会に生き抜く資質を培うと期待されます。

家庭科で調理実習をするから調理師になるわけでないように、プログラミング教育に取り組むからプログラマーやシステムエンジニアを育成するわけではありません。人工知能(AI)の社会導入、モノとモノがインターネット繋がる時代に活躍する子どもたちには、プログラミングは「読み・書き・計算」同様、第四のリテラシーに成り得ると推察します。トライ&エラーで高める論理的思考、論理的思考から創造的思考への高まりは、子どもたち自身が体験することで実感するはずです。

今後、各教育現場では各教科の授業時間との関連からも、プログラミングの学習が実践、展開されると思いますが、プログラミング教育は、従来の画一的な学習スタイルから脱却した、授業改善を後押しするものとも考えます。

尚、広陽小学校の教職員もプログラミング教育の導入を控え、長期休業などを利用しながら、学校としての研修や個人としての研修を進めております。



新入児検診

来年度4月に広陽小学校への入学を予定している子どもたちに対する新入児検診を11月7日(木)に行いました。

学校に来ていただいた子どもたちは、色々な検診や検査を受めました。早く終わった子どもたちのため、読み聞かせもしていただきました。

4月にニコニコ笑顔で入学式に来てほしいと思います。



冬道安全教室

毎年行っていますが、11月12日(火)に、低学年を対象とした、冬道安全教室を行いました。

これから、凍った道、積もった雪の中で子どもたちは歩かなければなりません。また、積み上がった雪の壁のため視界が悪くなったりします。

そのため事故に巻き込まれやすくなります。この学習では、事故防止のことをしっかり学びました。



12月の行事

- 12月 2日(月)交通安全指導日 KTSBA
食育出前授業(6年)
- 3日(火)給食費(高)
- 4日(水)チャレンジタイム 給食費(中)
- 5日(木)給食費(低) A L T
- 6日(金)給食費(予備) A L T
- 9日(月)職員会議
- 11日(水)食育出前授業(のびのび)
ひだまりクリスマス会
- 12日(木)児童会
- 16日(月)交通安全指導日 KTSBA
- 18日(水)さんさんパーク
- 19日(火)心に響く道徳推進事業
講師 稲田直人氏(5、6年)
- 20日(金)清掃週間(~24日)
冬休み図書貸し出し
- 23日(月)食育出前授業(5年)
携帯スマホ安全教室(5.6年)
- 25日(水)第2学期終業式 大掃除
- 26日(木)冬休みチャレンジタイム①
- 27日(金)冬休みチャレンジタイム②
- 29日(日)年末休暇 学校閉庁日
- 30日(月)年末休暇 学校閉庁日
- 31日(火)年末休暇 学校閉庁日

注意をお願いします

◎ 今年は全国的にも、帯広市内でもインフルエンザがかなり流行しているようですが本校でも、寒さが厳しくなり、熱がでたり腹痛を起こしている子どもたちが増えてきています。ご家庭でも子どもたちの体調管理をよろしくをお願いします。

◎ 12月に入り、暗くなるのが早くなりました。不審者対応や交通事故防止など学校でも指導していきますので、家庭でも子どもが外出される際、声かけをお願いします。

